

こんにちは！私の名前はエリカ・ポリドリです。私は、カナダ代表の女子ソフトボールチームに所属している選手です。2013年にこのチームの一員に選ばれました。そして、これまでのソフトボール人生の中で一番心に残っているのが、東京2020オリンピックで私たちのチームが銅メダルを獲得した時のことです。これを読んでいる人の中にソフトボールの好きな人はいますか？このときのソフトボールの試合を見た人はいるのでしょうか？

私たちのチームは（決勝進出をかけて）日本と対戦し、延長戦までもつれ込んだのですが、結局1-0で負けてしまいました。良い内容の試合だったと思いますが、結果は私たちにとって非常に辛いものとなりました。

しかし、その後、私たちは三位決定戦でメキシコを3-2で下して銅メダルを勝ち取ったのです！ソフトボールでカナダがメダルを獲得したのはこれが初めてのことでした。チームメイトやコーチと共にこの新しい歴史を作ることができたことを、私はとても誇りに思っています。

私はソフトボールを通して長い旅路を歩んできました。大学では学位の取得に励みながら自分が好きなソフトボールをしてゆくことが出来ればと思っていました。そして、在学中に看護師の資格を取得しました。当時も今でも学業が第一だと思う気持ちは変わりません。それは自分の将来の重要な基盤になるからです。

この間に、私は国の代表チームの選手に選ばれました。この日以降、カナダ代表として各国の素晴らしいチームと対戦してきたのですが、それは素晴らしく名誉なことでした。

ソフトボールをすることでたくさんの国に行くことができました。知らない国を訪れ、その国の文化や人々と触れ合うことは本当に素晴らしいことでした。そして私が訪れた国の中で一番好きなのが日本です！日本で出会った人は皆さん本当に親切で、思いやりがあり、フレンドリーでした。日本文化の特徴として、皆さんは一つ一つの行動に誇りを持っていて、周囲に対してもとても礼儀正しいということを感じました。日本について知り、またたくさんの人々に会えるのはとてもたのしいことでした。また日本を訪れる日が待ち遠しいです。

カナダ代表として年月を過ごす中で、学んだことが沢山あります。スポーツを通じて学んできたことは人生の様々な出来事に置き換えることができました。そのいくつかを紹介させていただければと思います。ひとつは目標を達成するために時間を管理することの大切さを学びました。目標を設定することは大切ですが、それ以上にどのようにして目標を達成するのか、そのための計画の立案がさらに重要なのです。（成功するための独自の計画の立案と言う意味）目標を達成するための過程においては、さまざまな障害や問題が立ちまはるでしょう。しかし、その障害を乗り越え克服することで、何事にも変えがたい価値ある経験を手にすることが出来るのです。

それから、モチベーションをあてにしすぎてはいけないということも学びました。私のモチ

バージョンは上がったたり下がったりします。自分のやる気をあてにするのではなく、日々の日課や習慣がより大切なのです。そして、時には失敗もすることだってあります。実はソフトボールや野球は失敗ばかりの競技なのです。野球やソフトボールであなたが3割打者であるなら、あなたはとても優れた選手なのだと言えます。失敗から学びとり次回へ活かそうとするか否かがその人の今後を決定付けるのです。もしあなたが失敗をしていないのであれば、あなたはなにも学べてはいないということになります。超一流の人は誰よりも多くの失敗をしているのです。

(この7年間の挑戦は)「人生は短いだから好きなことには全身全霊で取り組まねばならないのだ!」と言うことを教えてくれました。自分が心から好きなことをして楽しむことです。なにより、そうすることは目的ではなく、人生の旅そのものなのだという事を感じます。とりわけ重要なことは、自分の旅に関わってくれる人たちです。あなたと共に思い出を作ってくれる人たち、経験を一緒に分かち合うことができる人達のことです。私はオリンピックで銅メダルを取れたことを誇りに思いますが、私のチームメイトや家族との繋がり、これまでに皆で重ねてきた日々を、より誇りに思っています。スポーツが私をここまで導いてくれたことに感謝しています。私の夢を実現するため、サポートしてくれた人たちにも感謝しています。あなた方のスポーツと人生での努力に幸運が訪れますよう!自分の好きなことを追及すれば、必ず成功できると信じてください。

エリカ・ポリドリ

※ () は確認をして訳者が付け加えました。